

2026年度担当教員と研究・教育の領域、主要著書、論文、作品等



【教授】
古閑 晶子
(こが あきこ)
koga@juen.ac.jp

元小学校教員。国語の学習過程デザインに資する実践的・臨床的な研究をしている。言語による認識・思考を更新しながら、意味や知を創造していく探究的・対話的な学習過程をデザイン・実践し、その内実を学習者の学びの過程に着目して分析・考察することで、学習改善に資する要件を見出している。



【教授】
清水 雅之
(しみず まさゆき)
masayuki@juen.ac.jp

元附属小学校長・小学校教員。情報教育、ICT活用、総合学習を専門とする。小学校教員の時代に情報教育、総合に力を入れて実践を行ってきた。こうした背景から総合学習におけるICT活用や情報活用能力の育成に関する研究を行う。令和5年度より文部科学省「学校DX戦略アドバイザー」として現場や教育委員会への助言を行っている。



【教授】
土田 了輔
(つちだ りょうすけ)
tsuchida@juen.ac.jp

教育学、体育科教育学、スポーツ哲学が専門。学校体育において、言語活動や役割、貢献をキーワードに、「深い理解」を実現する「探究的な体育授業」の実践研究を行っている。編著『「関係づくり」を大切にするボールゲーム指導』（八千代出版）



【教授】
渡辺 径子
(わたなべ みちこ)
michiko@juen.ac.jp

元小学校教員。生活科、総合学習、環境教育、理科教育。体験的、協働的な学びを重視した学習活動や地域活動についての研究を行う。生活科や総合学習では、地域の自然や歴史、人、ものを学習材にしたカリキュラム開発を行う。共著『環境教育指導プラン 低学年 小学校で活かせる環境教育の指導実践例』（文溪堂）



【特任教授】※1
金田 聡
(かまだ さとし)
kamada@juen.ac.jp

元中学校教員。国際理解教育、総合学習、社会科教育。国際理解教育は東アジアの相互理解やクラスの中の多様性の尊重について、教室を磁場にした国際協働型の研究を行う。総合学習は持続可能な社会の創り手の育成に向け、ESDやSDGsを射程に入れたカリキュラム開発を行う。共著『グローバル時代の国際理解教育』（明石書店）



【准教授】
松浦 亮太
(まつうら りょうた)
matsuura@juen.ac.jp

専門は運動生理学。筋力維持や二重課題（マルチタスク）下での身体の資源配分メカニズムを研究。この知見を、学習時の集中力維持や、特別な支援を要する児童への効果的なアプローチへと応用することを目指している。

